

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS  
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT  
TOKYO MACHIDA COSMOS



# 東京町田コスモスワイズメンズクラブ

TO ACKNOWLEDGE the DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT.

「強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う。」



2025年8月号  
第349号

THE COSMOS Chartered in May 1996

【今月のことば】

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を感じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(新共同訳日本聖書協会)



ヨハネ福音書 3章  
16節チャプレン  
平本善一選

## 2025～2026年度主題

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| クラブ会長<br>山口和彦 (町田コスモス)        | 主題：現実を見すえ、ユースのために着実な一歩！<br>スローガン：共に未来を創ろう！         |
| 東新部部長<br>深尾香子 (多摩スマイル)        | 主題：「考えること」を止めないで進もう！<br>スローガン：棚卸と原点回帰。評価から展望へ。     |
| 東日本区理事<br>山下 真 (十勝クラブ)        | 主題 『ワイズのらしさ再発見』<br>スローガン Change！                   |
| アジア太平洋地域会長<br>田上 正 (熊本むさしクラブ) | 主題 『信念と愛を持って行動しよう！』<br>知-ガ-ンYMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう！ |
| 国際会長<br>Edward Ong (シンガポール)   | 主題 『信念、愛、行動』<br>スローガン 『共に、より強く』                    |

【8月の強調テーマ】 戦略2032 (健康、環境、教育から公平で持続可能な世界を目指す)

### 2025年8月第一例会

日時 2025年8月7日 (木) 17:30～19:30

場所 玉川学園コミュニティセンター-2F多目的1A

オンライン [ここをクリックしてください。\(ZOOM\)](#)

設営：加藤、受付：富樫 進行司会：加藤

17:00集合設営、17:30～Fellowshp 軽食

開会点鐘	会長	山口和彦
ワイズソング	一同	
モットー、ワイズ信条	司会	平本善一
今月のことば・感謝の祈り	会長	山口和彦
ゲストビジター紹介		— / —
会長挨拶		

卓話タイトル 「BF代表として3週間の ネパール訪問」	卓話者 国際・交流事業主査 為我井輝忠 (多摩スマイル)
-----------------------------------	---------------------------------------

YMCAニュース・アピール 書記報告 ハッピーバースデー にこにこ献金 集合写真・会計報告 閉会点鐘	担当主事 諏訪治邦 書記 加藤祐一 会長 山口和彦  司会、会計 会長 山口和彦
---	---

### 巻頭言 町田コスモスクラブ会長 山口 和彦ワイズ

へびのように賢くハトのように無垢でありなさい  
(マタイ10.16)



参院選が終わりましたが、衆参両院とも与党は過半数に達せず、かつてない見通しのきかない状況とされます。世界を見ても、約30年前、冷戦が終わり、歴史学者フランシス・フクヤマが「歴史の終わり」

を著した頃、「国境のない地球もいずれ実現可能」と楽観的に思われていたのが夢のようです。特にこの10数年、自国の権益のため、大々的に武力を行使する国々が現れてしまいました。人々が自国のため、開けていたドアを閉ざそうとする中で、国際協会であるワイズメンズクラブの重要性はむしろ増しているのではないかと思います。無垢で純粋な平和への理想を持ちつつ、現実を見すえ、今自分たちは何をすべきか、賢く考え判断し実行するwiseなワイズメンでありたいと思います。



### 8月Happy Birthday：25日 今村 路加さん

7 月 デ ー タ	在籍	8 名	例 会 出 席	メン	5 名	BFポイント	町田コスモス			
	出席	11 名		メーカーキャップ	0 名		にこにこ	5,170 円		
				出席率	62.5 %		切手	0 g	累計	5,170 円
				メネット	0 名		累計	0 g	健康ファンド	0 円
				ゲスト ビジター	6 名				累計	0 円

### 7月第一例会

日時：2025年7月3日（木）17：30～19：30  
場所：玉川学園コミュニティーセンター2F多目的1B

出席者：(11名) 山口和彦(会長)、権藤徳彦(副会長)、加藤祐一(書記) 富樫紀代美(会計)、諏訪治邦(担当主事)ピジター：東新部部長：深尾香子(多摩スマイル)、書記：伊藤幾夫(一〇一)、会計：石田孝次(一〇一)、地域奉仕Yサ：峰毅(一〇一)、宝塚クラブ多胡会長、長尾書記



東新部長および役員が訪問されるキックオフ例会が開催されました。リモートでは宝塚クラブの多胡会長と長尾書記のご参加がありました。盛大の中で会長就任式が部長より執

り行われ、充実した第一例会になりました。会長就任式では山口和彦ワイズは会長として宣言をされましたあと、部長より祝福をされ、拍手をもって新年度が厳かにスタートとなりました。その後当クラブの役員の見任式が山口会長により執り行われました。

部長の挨拶ではクラブ30周年行事に触れ、東新部の行事と重ならないように配慮をされました。続く部の役員挨拶で地域奉仕・Yサービス事業主査の峰ワイズより軽度認知症サポーター講習会についての提案がありました。すでに700万人の方が認知症となっており、その軽度の状態から対応が必要だと力説。無関心は死を招くとの強いメッセージでこの重要性を訴えました。地域との連携や正しい理解がワイズの新しい動きになるのでこの弱みを強みに変える仕組みづくりをしましょうと呼びかけがありました。

会計の石田ワイズからは東日本区の補助金がゼロとなったことでクラブ運営が厳しくなる点や伊藤ワイズからは、会員減少と高齢化の中でクラブや部の枠を越えた新たな連携と挑戦が不可欠であるとの呼びかけがありました。現在、在京12クラブのつながりを始めており、いっしょに頑張りましょうと熱いメッセージがありました。そしてハッピーバースディに富樫紀代美ワイズを皆で祝福し、にこにこファンドとして5,170円が寄せられました。例会は定刻通りに進行し、大変感謝の例会となりました。



### 7月第二例会

日時：2025年7月17日（木）17：30～19：30  
場所：玉川学園コミュニティーセンター2F多目的3

出席者：(5名) 山口和彦(会長)、権藤徳彦(副会長)、加藤祐一(書記) 富樫紀代美(会計)、諏訪治邦(担当主事)

2025年7月17日、玉川学園コミュニティーセンター音楽室にて第二例会(事務会)を開催しました。プロジェクターで資料を投影しながら、8月の第二例会に向けて決算と予算案の準備を進めるための協議を行いました。

山口会長の進行により、以下の確認・決定がなされました。

【軽食ルールの見直し】：フェロウシップとしての軽食は第一例会のみとし、第二例会では実施しない。

【ファンドの整理】：ハチミツ、にこにこのファンドを終了し、残高は30周年行事費に充当。新たに「健康ファンド」を設け、会長の謝礼・出版売上等を寄付財源とする。

【会場利用の整理】：第一例会は24人部屋、第二例会は18人部屋とし、毎月会長が抽選申し込みを行う。

【広報・発行体制】：半年間停止していたブリテンの定期発行を再開。編集はオンライン会議も活用。掲示板を使った広報強化も確認。

【30周年行事】：町田地域のボランティアへの感謝を主旨とし、原町田教会を会場候補、参加費2000円で企画を進める。

【会計関連】：例会のにこにこは、一般会計扱い。会計の補佐に加藤書記がはいる

東京YMCAチャリティーランの紹介、アジア地域大会に参加する権藤ワイズへの激励、欠席者への資料郵送等も報告され、19時30分に定刻で閉会しました。



卓話者紹介 <BF代表として3週間のネパール訪問>  
為我井 輝忠



昨年（2024年）11月20日から12月10日までカトマンズ、ボカラ、ルンビニの3か所を訪ねてきました。ネパールにはルンビニにY's Men's Clubの組織があり、その責任者の

andari氏がBF代表として小生を受け入れてくれました。初めてのネパール、しかも複雑な文化を持つ同国に果たして意味がある訪問が可能か、最初は不安でした。

ボカラにはDeepak氏のオフィスがあり、そこを表敬訪問したり、市内を案内していただきました。ルンビニではワイズメンズクラブの歓迎式典があり、多くの方々とお会いし、お話しをしましたが、何よりも彼が支援している小学校での体験が忘れられないです。前もって彼から小学校で教えてもらえないか、と打診があり、OKとの返事をしておきました。140人程の生徒と14人の先生の小さな学校でしたが、ここで日本に関する授業と折り紙講習を行いました。生徒たちは皆、常日頃英語を学んでいたもので、授業は英語で問題ありませんでした。特に折り紙講習には皆、興味を持って来て、先生たちも一緒に参加してくれました。カトマンズでは世界遺産に登録されているダルバール広場やヒンズー寺院、博物館を訪ね、この国の文化と歴史を知り、有意義な時間を過ごすことができました。

3週間という短い期間、しかも限られた地域でのみの訪問だったので、ネパールに関する十分な理解は得られたとは言えないが、多くの方々と接し、自分なりに体験出来たことを通して、この国に興味が高まったと言えます。



多摩スマイルブリテン12月号より転載しました。

東京YMCA報告 諏訪治邦

- 6/26に世界YMCAの今とVISION2030をテーマに研修会が行われました。日本YMCA同盟の主催で、世界YMCA VISION2030推進責任者が来日し、日本のYMCAの職員に対して研修を行いました。
- 6/27にウクライナYMCAの総主事が来日し記念報告会が行われ、他のYMCAの職員約40名が参加しました。
- 6/29-7/3大阪YMCAをホストにYMCA世界大都市会議が行われました。世界31か国から総主事やCEOが来日し「transformation」をテーマにプログラムが行われました。
- 7/21-26に東山荘を会場に全国YMCA専門職管理者研修を行いました。YMCAの保育園・幼稚園・学童保育・高齢者施設の管理的リーダーシップを担う職員が対象となっています。講師を阿部史郎さんをお願いし研修が行われました。今まだ、個別に研修は行われていますが、組織化してこの分野での研修を行うことで、普段YMCAの理解を深める機会の少ない職員に対して一定のYMCA理解が進むことが期待されています。

5

今後の行事予定

- ①8/1 早天祈祷会 午前7時から8時 山手センター
- ②8/8-8/12 第16回キッズワールドカップIn韓国
- ③9/20 2025災害スタディー 防災まち歩き 東陽町センター
- ④インターナショナル・チャリティー・ラン  
個人ウオーキング 9/20-27 (オンライン)  
チームウオーキング 9/27-10-5 (オンライン)  
駅伝大会 9/27 (木場公園) \*



多摩スマイルのプランター野菜講座に参加  
山口和彦

5月から始まった第9期プランター野菜講座（東京多摩スマイルクラブ主催）の最終回が7月8日（火）、リモートで行われました。山口は初参加でしたが、バジル、モロヘイヤ、空心菜、ゴーヤ、三つ葉、葉ネギの栽培を試みました。藤田智先生（恵泉大）の丁寧なご指導のおかげあって、すべてすくすく育ちました。毎朝の水やりも健康のためになりました。ただ、虫（バッタ等）たちもこれらの野菜が大好きだということを知らず、バジルはかなり虫食い状態になってしまいましたが、無事な葉を使ってオリーブオイルと混ぜ、豆腐に乗せて塩でいただき、香り

を楽しみました。来年は防虫網などで守ろうと思います。収益は地域の子ども食堂「ぼくの家」とフリースクール「慈有塾」の支援に贈られるそうです。



7月15日（火）、浅羽俊一郎ワイズ（埼玉ワイズメンズクラブ、元国連難民高等弁務官事務所職員）の主宰する“き咲きてらす第4回ミニ講座”

（さいたま市浦和区木崎町）に山口が参加し、“脳とこころの不思議－意識と無意識のはざま”というスピーチをしました。この会は浅羽さんをご近所の、主にご高齢の方に呼び掛け、健康な余生を設計し自らの「証し」をまとめることを目指して開かれているもので、10数名の地元の方々、行政の方が参加されていました。運動テストで“無意識”な手の動きがあることを楽しんだ後、意識しやすい言語、競争にかかわる脳にくらべ、平和、共感、愛にかかわる側の脳の働きが意識されにくいことなどが語られ、活発な討論が行われました。

Y's Leadership  
直前書記・会長 権藤徳彦

新年度入り、2025年7月1日の私達のクラブ会員数は、前期9名から8名となりましたが、7月3日コスモス第1例会に深尾香子部長を迎え、山口和彦新会長の就任式文による就任式と新会長によるコスモス役員任命式により、今期も無事にキックオフ、喜びのうちに、リーダーシップが継承されました。

“他の、より健全な日々のための奉仕を志すボランティア”が集うワイズメンのリーダーシップの継承でした。

排他的ともいえる特徴的な奉仕“その利を計らずその義を行い、その権(ちから)を享け、そを用いてその功に致す”(ワイズモットーの中国語版；“行其義勿計其利、亨其權須致其功”より私訳)というワイズの本 motto に示されたリーダーシップ、これを個人とクラブで実行し続けるための継承と言われます。

たとえ、不安・難題に出遭っても、このワイズの本 motto は常に励ましとなります。

「わたしはあなたを選び、決して見捨てない。恐れることはない、私はあなたともにいる神。」(イザヤ書41章9節)

<トピックス>ユースへの啓蒙活動  
山口 和彦

7月18日（金）、ユースへの啓蒙活動の一環として、山口は夏休みに入った三田国際科学学園高校（世田谷区）にて、課外の講義を行いました。高校生の時期は、自分とは何者か？という哲学的な問題に目覚めつつ、過剰な競争からいじめ、引きこもり、うつ、薬物、自死等に至りかねない精神的に不安定な時期でもあり、自身の意識、脳機能、薬物の作用などについて、正確な知識を持つことが大事であると思われませんが、現在のカリキュラムには含まれていません。これらを解説しつつ、ストレスをためない、脳の共感的機能のはたらかせ方についても話しました。希望した数名の生徒と教頭先生を含む数名の先生が参加し熱心に聴講していました。

<地域奉仕>き咲きてらすミニ講座に参加  
山口 和彦



註：当日配布資料参照：“私たちは、なぜ排他的であるべきか？” (Why be so exclusive?) ワイズメンズクラブ創立者ポール・ウィリアム・アレキサンダー基調講演、第9回国際大会1930)

山口会長の古巣、目黒Yの仲間たち「七夕の会」  
山手YMCAに44名が集合する！

7月5日（土）東京YMCA山手センターで、目黒Y OGOB会呼びかけの「七夕の会」が催され、加藤、山口が参加しました。目黒、中央、武蔵野、世田谷の各YMCAなどのリーダー、職員OGOB等、44名が集まり、キャンプソングや当時のフォークソングを皆で歌いました。後半は兼松豊さん（バクダン、京都上賀茂教会牧師）のショータイムで、全員で声を出して振り付けをする、といったキャンプのような楽しいひとりで、50年間のギャップを感じさせない一体感を共有できた会でした。また東京Y、日本YMCA同盟のウクライナ避難者支援活動へそれぞれ6万円ずつの寄附が行われました。今後ワイズの会員増強につながればと思います。



町田わくわく科学実験教室  
山口 和彦

7月19日（土）、町田市民フォーラムにおいて町田YMCA“わくわく科学実験教室”が開かれ、1年生から5年生までの12名の小学生が参加しました。この日のテーマは “オーブレック”。なぞのようなテーマにわくわくしながら始まりました。まず子どもたちには小さなビニール袋に入った3種の粉末が配られ、どれが小麦粉、片栗粉、塩か、考えてもらいました。手触りや色から1年生でもいろいろ意見を述べ、多くの子が正解でした。次にボールに入ったコーンスターチに水を加え、手でこねてみて、液体のようだったり押すと固い固体（ダイラタンシー現象）になったり、団子が作れるか試したり、いろいろ工夫して楽しんでいました。



第一回評議会リモート参加報告  
会長 山口 和彦

7月19日（土）、本年度の第一回評議会がリモートで行われ、町田コスモスワイズメンズからは山口会長、加藤書記、富樫会計の3名が出席しました。各議案が可決されましたが予算については不確定な部分があり、確定次第第臨時協議会で審議することになりました。また、部大会は渡辺美帆（東京クラブ）部大会実行委員長を中心に、2025年6月を目途に、江東区文化センターにてチャリティーコンサートを企画中との報告がなされました。また峰CS・Yサ事業主査（多摩スマイルクラブ）より、2026年春に認知症サポーター養成講座を開催する計画である旨の報告がありました。東京YMCAからは9月20日（土）から27日の個人参加チャリティーウォーク、20日（土）の災害スタディへの参加の呼びかけがありました。



7/19第1回東新部評議会 活動計画発表  
町田コスモス 山口 和彦

新会長のもとで、東京町田コスモスクラブの新年度の活動が、会長主題、“現実を見ずえ、ユースのために着実な一歩を！”のもとに始まりました。町田市のある東京市部（西部）から東京YMCAの拠点がなくなった現実を見ずえながら、私たちのクラブは東京YMCAの活動を支える基本方針を堅持しつつ、さらに地元の地域社会の中で、独自にユースのためにできる活動を行い、あるいはユースのために有意義な活動をしている団体を支援し、また多摩スマイルクラブと町田コスモスクラブの会員で支えている町田YMCAの活動（うたごえ広場、わくわく科学実験教室など）も積極的に推進し、地元の行政、市議とも連絡を取りながら、少人数ではありますが、小回りの利く“運動体”としてのクラブを目指し、ユースのために着実な一歩を進めたいと考えています。

I. 例会計画

毎月第一木曜日17:30-19:30を第一例会とし、フェローシップで軽食を共にとった後、ビジターの方に卓話をしていただく形にしたいと思います。少人数のクラブのため、他のクラブにも呼びかけ、共同開催も積極的にいき、リモート参加も可能な準備をしておきたいと思ひます。第二例会は第三木曜日の同じ時間で、主に事務連絡を行う予定です。会場は町田市玉川学園コミュニティセンターです。

7月例会：第一例会は7月3日（木）、東新部より深尾部長をはじめとする役員の方々の来訪がありました。山口新会長のあいさつの後、クラブ会長就任式、クラブ役員就任式が執り行われました。第二例会は7月17日（木）に予定。事務会として新年度予算案、30周年記念事業（2026年5月を予定）等について話し合う予定です。

II. その他の事業計画

わくわく実験科学教室（町田YMCA）は毎月第3土曜日の午前中、町田市民フォーラムにて小学生（定員12名）を対象に数名の指導のもとに行われています。魅力的な教材が多く、子どもたちは目を輝かせています。ベテランティア講習会：10-11月に防災をテーマにボランティア活動の講習会を行っています。会員の増強は大きな課題ですが、7月5日に東京YMCA山手センターで行われたYMCAリーダー、職員のOGOB会は一つの可能性を示していました。目黒YのOGOB会の呼びかけで目黒、中央、武蔵野、世田谷YなどのOGOB、44名が集まりました。50年ぶりに会う方々も多く、加藤ワイズらのギター伴奏にあわせてキャンプソング、当時のフォークソングを共に歌い、一気に50年の壁を越えた一体感がありました。

松香ワイズ、お元気ですか？



権藤ワイズは東日本区大会で販売されていたワイズTシャツを購入いたしました。第一例会ではこれを功労会員になられた松香光夫ワイズに贈りますというメッセージがございました。

加藤ワイズ、自家製郵便封筒をつくる



加藤ワイズは家庭用プリンターで打ち出したA4に切り込みを入れて糊で貼り合わせ、自家製郵便封筒を作った。使い方は郵便物を置いて包むやり方だという。

今後の予定

YMCA

8月16日 町田フォーラム わくわく科学実験室

9月27日 木場公園、チャリティーラン

東新部

10月4日 東新部大会

11月22日 評議会（第2回）東陽町

町田コスモス

8月7日 第一例会 玉川ICC多目的室1A

8月21日 第二例会 玉川ICC多目的室1A

編集後記

加藤祐一

8月号ブリテンは、キックオフ例会としてたくさんの記事があり、6ページとなりました。感謝でございます。

30周年にむかっています

東京町田コスモスワイズメンズクラブ

2026年5月の30周年行事を開催します。

会長 山口 和彦  
副会長 権藤 徳彦  
書記 加藤 祐一  
会計 富樫 紀代美  
担当主事 諏訪 治邦

事務所：227-0036 横浜市青葉区奈良町1566-565 山口 和彦 気付  
第1例会 第1木曜日 17:30～19:30 / 第2例会 第3木曜日 17:30～19:30  
例会場：玉川学園コミュニティセンター（小田急線 玉川学園駅下車）

会費振込先

【銀行口座】 きらぼし銀行 玉川学園支店 0137

店番 060 口座番号5048617 東京町田コスモスワイズメンズクラブ